2020 年 1 月 14 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証第一部)

「未来創生 2 号ファンド」
IoT リハビリ支援サービスを展開する Moff 社への投資実行

―IoT/AI 技術を活用した医療から介護までのシームレスなリハビリ支援の実現に期待―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、IoT リハビリ支援サービスを展開する株式会社 Moff（本社：東京都港区、代表取締役社長：髙萩昭範。以下、Moff 社と表記）への投資を実行しましたので、お知らせします。

Moff 社は今回の調達資金を活用し、IoT による高齢者のリハビリ支援サービス「モフトレ」や Moff 社のリハビリ支援関連サービスのさらなる拡大のため、営業・マーケティングと開発体制の強化を行います。

■投資先企業の概要

Moff 社は 2013 年設立で、IoT 技術を活用したヘルスケアサービスの企画・開発・販売を行っています。「家族を活き活きと元気に」をミッションに、自社開発のウェアラブル端末 Moff Band を中心としたモーション認識・データ解析技術を組み合わせて、介護施設向け IoT リハビリ支援サービス「モフトレ」などを展開し、介護施設でのリハビリ/個別機能訓練業務の計画書作りからトレーニング、記録・評価まで幅広い分野をカバーしています。高齢者の自立支援をデータに基づく科学的アプローチでサポートしていくために、IoT/AI 技術を活用してリハビリ業務の見える化・高度化に貢献するとともに、医療から介護までのシームレスなリハビリ支援の実現を推進しています。

■「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2019 年 12 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、1,093 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com